

第2回 はじめよう多文化ソーシャルワーク

はじめのいっぽ保育園（常総市）の事例
～バイリンガル保育者の育成と役割～

認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ
神田 あずさ

1. 設立背景

○常総市の人口約65000人のうち約8%が外国籍住民

○常総市では外国籍の未就学児約330名のうち、半数が在宅している現状

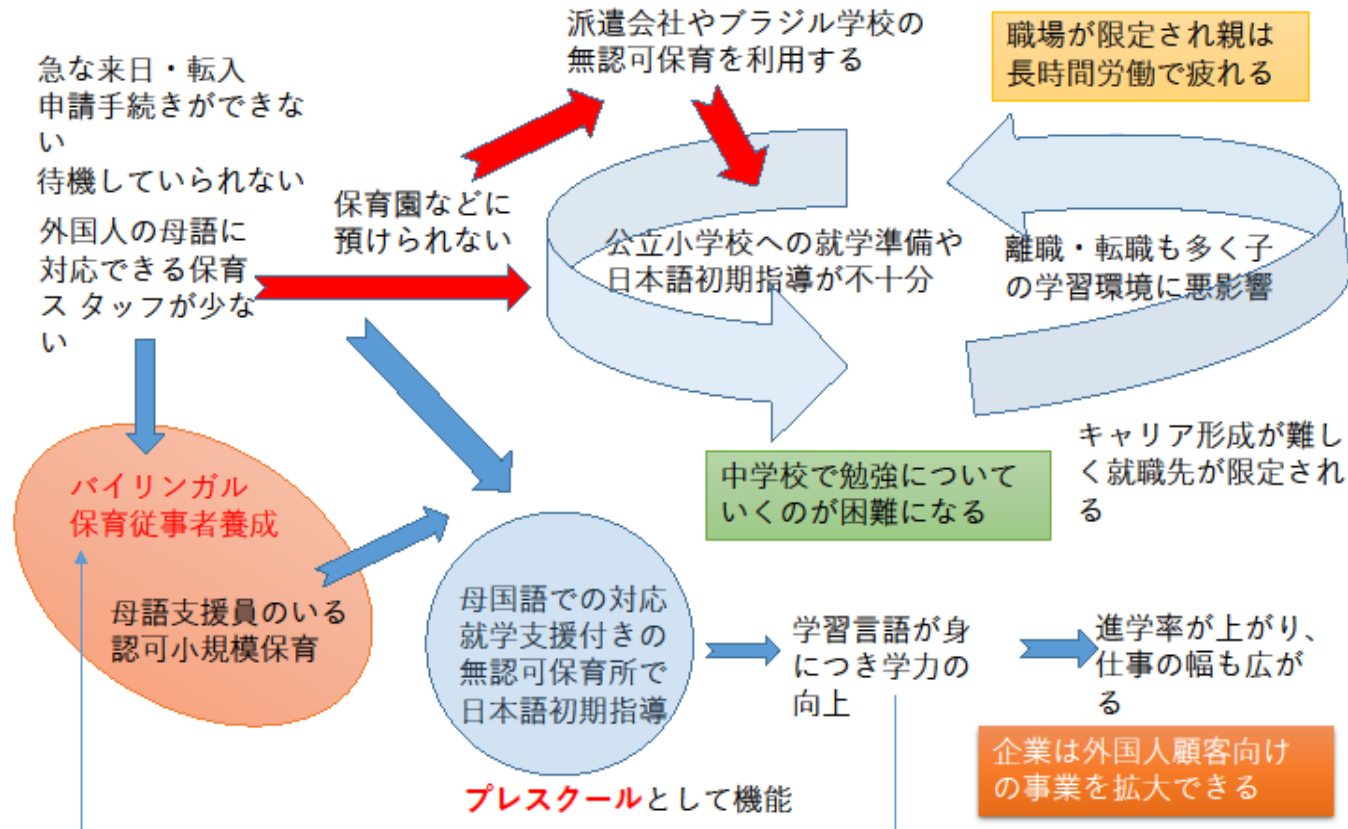
○保育所に預けたいが、、、

- ・日本語の申請書が分からない
- ・子どもがいるから働けない→公立保育所への申請ができない
- ・小学校就学前の生活・日本語指導がしてほしい
- ・日本語が分からないため保育者とのコミュニケーションが不安

↓
2018年4月 多文化保育園「はじめのいっぽ」 (認可外保育施設) 開所

多文化保育のイメージ

外国籍住民の保育と就学環境を向上させ、
地域で活躍できる人を育てる



多文化保育のミッション

Primeiras Passos

Creche-Escolinha

Filosofia de Trabalho

- Respeitar a individualidade da Criança
- Ter o pensamento em ajudar com boa vontade.
- Agir em grupo
- Se colocar no lugar das crianças/pessoas para tentar agir de forma correta
- Operar em ambiente seguro, motivador e agradável para as crianças se desenvolver socialmente.
- Tendo sempre um ambiente organizado e limpo

Apoio Familiar

- Queremos que exista uma comunicação fluente entre os pais, criança e escola, por isso temos tradutores em varios idiomas
- Apresentaremos as documentações traduzidas
- O diário escolar (tenraku note) será escrito no idioma da criança.
- Usaremos um japonês fácil para melhor compreensão dos pais.

Pre-Escola

- A partir dos 5 anos começamos com aulas da Pré-escola
- * Ler e escrever Hiragana, Katakana
- * Aprender os números.
- * Aprender a fazer contas de somar e subtrair
- Trabalhamos com a integração na língua Japonesa a partir dos 0 anos de idade
- Ajuda na inscrição e preparação da documentação e materiais necessários para o aluno entrar na escola Japonesa.

Atividades

- Teremos atividades
 - Intelectual
 - Psicomotriz
 - Social-emocional diárias.
- Atividades artísticas e culturais de diversos países.
- Ensinar músicas de diferentes países e idiomas.
- Teremos uma biblioteca com livros em diferentes línguas.
- Desenvolver atividades esportivas e artísticas, (Dança, Teatro)
- Teatro de marioneta.

Atas Comemorativas

- Procurar a Participação da família nas atividades da escola e os aniversários.
- Festa Junina
- Páscoa
- Dia das mães
- Dia dos pais
- Natal
- Dia das crianças
- Dia do professor
- Dia do amigo
- Commemorar Folclore

Alimentação Multicultural

- Conhecer e experimentar comida de diferentes países.
- Festival internacional de comidas.
- Aula de cozinha de diferentes Países.

はじめのいっぽ

ほいくえん

方針

- 個性を尊重する
- 安全に配慮して環境資源を活用する
- 保育者のコミュニケーションを密にとり、子どもが主体的に活動できるようにする

保護者サポート

- 入所前の説明会
- 通訳をして子どもだけでなく保護者も支援する
- いつでも相談できるように保護者と信頼関係をつくる

プレスクール

- 毎日5時から勉強の時間を設ける
- 日本語を基本語とする
- 日本の社会に馴染むようにする

プログラム

- 知的活動 (多言語本の読みかせ等)
- 身体的活動・情緒的活動 (リトミック・歌・ダンス等)
- 地域資源の活用 (近隣住民とのふれあい公園や児童支援施設の利用等)

行事

- 日本文化・習慣にふれる (おひさま、餅分、正月等)
- 子どもの母国の文化・習慣にふれる (クリスマス、フェスタ・サニート、1-27-7等)
- それぞれが対象になれる日 (誕生日会、失明日、おひさま日)

料理

- いろいろな国の料理を楽しむ
- 多国籍料理フェスタ
- 母国の味の給食(お昼)

2018年4月 認可外保育施設「はじめのいっぽ保育園」開所

- ・ 0～5歳児の異年齢保育
- ・ ポルトガル語、スペイン語、タガログ語通訳配置



日本人園児が少なく、日本語に触れる機会が少ない
保護者も日本人家族と交流する場がない

2020年4月 小規模保育B型として市の認可を受ける

- ・ 0—2歳児:小規模保育施設
- 3—5歳児：認可外保育施設



認可施設の日本人園児の利用が増加
多文化交流に期待！

2. 園児数



入園園児数（2020年10月1日現在）

国籍別 人数	日本		ブラジル		フィリピン		合計
	4		9		1		14
年齢別 人数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
	4	1	4	2	1	2	

3. 特 色

①行事

- ・ 日本文化・習慣にふれる（七夕・節分・正月など）
- ・ 子どもの母国の文化・習慣にふれる
（フェスタジュニーナなど）

3. 特 色

②料理

- ・日本の料理を味わう
- ・母国（ブラジル・フィリピン）の料理を楽しむ

3. 特 色

③活動

- ・ 知的活動
 - 多言語で本の読み聞かせを行う
 - 絵カードを使ったゲーム（日本語教育）
 - 小学校就学前準備【5歳児】（日本語・生活指導）
- ・ 身体的活動
 - 多言語での歌やダンス

3. 特 色

④保護者支援

- ・ 保護者の母語でのサポート
 - 入所前の面談
 - 連絡帳の多言語標記
- ・ 小学校就学前相談
- ・ 転園相談など

4.バイリンガル保育者の育成

○常総市に住む外国人住民の中には、工場で働く人が多い。定住化が進み、日本生まれ、日本育ちの子どもが増える中、多様な働く場・活躍の場を増やしていきたい！

⇒ 「バイリンガル保育者」の育成を目指す

○職員数（2020年10月現在）

園長　：　1　名

保育士　：　3　名

バイリンガル保育者　：　5　名

計　9　名

4.バイリンガル保育者の育成

○バイリンガル保育者とは、、、

多様な文化背景を持ちながら、保育知識を有する保育者をさし、本園では、日本語に加えて、ポルトガル語や、英語・タガログ語の読み書きが堪能な方。

現在：ポルトガル語：4名、 英語・タガログ語：1名

○「子育て支援員研修」の受講

保育の専門性を高めるために、茨城県が実施する「子育て支援員研修」を受講を勧める。

○バイリンガル保育者の役割

- ・日本語を母語としない子ども、保護者への通訳
- ・母語・母文化を活かした保育活動
- ・日本語教育 など

4.バイリンガル保育者の育成

○相談内容

- ・市役所の書類が日本語で分からない。
- ・働きたいのに、子どもの預け先が決まらず困っている。
- ・日本語がわからないので、病院に一緒に来てほしい
- ・子ども、保護者の日本語教室を開いてほしい

○課題解決方法

- ・子どもの養護・教育のみならず、書類作成や医療通訳など多岐の課題に対応できるのがNPOの特徴。
本園でもできる限り、上記の相談事に答えるようにしている。

→信頼関係の構築につながっていく。

実際、卒園・転園した利用家族が、継続的に当会のイベントに参加してくれたり、ボランティアとして手伝ってくれている。

4.バイリンガル保育者の育成

○課題

- ・日本人保育士と保護者との信頼関係の構築
→言葉が通じない分、関係構築に時間がかかる。
日本人保育士の活躍や子どもとのかかわりを伝える。
- ・バイリンガル保育者の専門性向上
→通訳だけではない、子育ての専門者として位置づけ
- ・プレスクール（日本語初期指導）の実施
→在籍園児の多くがブラジル人であり、友達同士でポルトガル語を話してしまい、日本語で話す機会が少ない。
小学校就学に向けて日本語を遊びながら学べる体制の構築を目指す。

4.バイリンガル保育者の育成

○バイリンガル保育者を配置するメリット

【子ども、保護者との意思疎通が図れる】

- ・子どもの思い受け止めてあげられる
- ・子どもの薬の服用、欠席の連絡、園児の様子
- ・言葉など発育・発達状況を共有
- ・市役所からの通知などスムーズな伝達・コミュニケーションが可能

人・地域と関係がもてる、 つながりが生まれる

ご清聴ありがとうございました！